

箱根七福神とは

運がありませんか？日本の神話によれば、いわゆる七福神を祀った一連の神社仏閣巡りが不運を抜け出す一つの有効な対処法です。かなりか

いつまんだ説明になりますが、七福神は、繁栄と商売の神である恵比寿、農業の神である大黒天、悪と戦う神である毘沙門天、美と芸術の女神である弁財

天、知恵と長寿の神である福祿寿、幸福の神である布袋です。それぞれの神が独自の起源を持ちます—— 仏教に由来する神もいれば、ヒンズー教の神もい

ます。恵比寿は純粹に日本に由来しています。しかし、これらの神々が一つのまとまりとして初めて言及されたのは室町時代（1336 年—1573 年）です。こ

のように、それぞれに神が一柱ずつ祀られている聖地を 7 ヶ所巡る考え方は新しいとは言えません。しかし、このような七福神巡りは、日本全国で新たな行

路が設定されたため、ここ数十年間で急激に人気が高まりました。箱根は約 10

年前にこの事業に参加し、彫刻家である伊藤光治郎氏が、七福神のうち、事業に参加する神社仏閣の 6 柱の神の木製像を新たに造形する依頼を受けたのはこ

の時です。熱心な信者は、七福神巡りの日帰りバスツアーを予約することがで

きます。このようなツアーは特に 1 月に人気が高まります。人々がその 1 年の

幸運を願って出発するのです。